令和８年度　シラバス　　【生物基礎】

１１　新潟県立新潟翠江高等学校（通信制課程）

履修区分	単位数	レポート提出回数	最低出席時数	試験回数
選択必履修	2	6	8	2

教科書	学習書・その他教材
改訂　新編　生物基礎　（東京書籍）	学習書：ニューステージ生物図表（浜島書店）

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①生涯にわたって自ら意欲的に学び続け、目標に向かって努力する態度を育成します。 ②互いの人権や考えを尊重し、命を大切にする心と行動力を育成します。 ③社会的・職業的自立に必要となる勤労観や職業観を育成します。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行う～ ①多様な生徒の学習歴や興味・関心に合わせた科目選択ができる教育課程を編成します。 ②思考力・判断力・表現力の獲得を目指した、学びを充実させる丁寧な面接指導(スクーリング)を行います。 ③生徒が自学自習しやすい報告課題(レポート)を作成し、生徒の学びを深める丁寧な添削指導を行います。 ④放送視聴や平日校外スクーリングなど、通信制の特徴を活かした多様な学び方を促します。 ⑤コミュニケーション能力の伸長を図るため、生徒交流会や運動会、体験学習等の特別活動を行います。

学習目標

生物や生物現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)　日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。

(2)　観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。

(3)　生物や生物現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。

学習内容

１編　生物の特徴（第１回レポート）
２編　遺伝子とそのはたらき（第２・３回レポート）
} 前期試験範囲

３編　ヒトの体の調節（第４・５回レポート）
４編　生物の多様性と生態系（第６回レポート）
} 後期試験範囲

学習方法

・レポート

教科書に沿って学習し，内容を理解することができるように，レポートの問題は基礎，基本的なものが中心となっています。学習書なども利用し，レポートの課題をこなすだけでなく，幅広い知識を身につけ，理解を深めるようにしましょう。

・授業

授業では，レポートの内容にかかわる重要な法則の説明や例題の解説等をします。事前にレポートの問題を解答し，不明な点や疑問点を明確にしておいた方が，授業の内容を理解しやすいと思います。

・校外授業と放送視聴

学校での授業のほかに，校外の生物関係の施設見学をしたり，ＮＨＫＥテレの「高校講座 生物基礎」を視聴してレポートを書くことで，授業への出席に代えることが出来ます。上手に活用して，必要な出席時数（８時間以上）を満たすようにしてください。

・試験

試験にはレポートの学習内容を確認する問題を出します。改めて教科書・学習書を調べ直す必要はありませんが，レポートの内容や計算方法等を理解してきてください。

評価の観点の趣旨		
知識・技能	**思考・判断・表現**	**主体的に学習に取り組む態度**
生物や生命現象に対する概念を理解し、知識を身に付けている。 　観察・実験などの基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	生物や生命現象の中から課題や仮説を設定し、観察、実験などから得られた結果を科学的に考察し、根拠を基に導き出した考えを表現している。	生物や生命現象に関する事項に対して主体的に関心を持ち、それらを科学的に探究しようとするとともに、探究の過程などを通して獲得した知識・技能や思考力・判断力・表現力を日常生活や社会に生かそうとしている。

評価方法 各観点における評価方法は次のとおりです。		
知識・技能	**思考・判断・表現**	**主体的に学習に取り組む態度**
以上の観点を踏まえ ・定期試験の分析 ・レポートの内容の分析 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ ・定期試験の分析 ・レポートの内容の分析 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ ・定期試験の分析 ・レポートの内容の分析 などから、評価します。
内容のまとまりごとに、各観点「A：十分に満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。		

担当者からの一言
この科目では，生物や生命現象について学習します。レポートや授業でわからないところは，遠慮せずに質問してください。